ダムの設備

Equipment of the **MINAMIHATA Dam & SEFURI Dam**

クレストゲート

洪水時にダムから下流に流す水量を調節するためのゲートです。

操作卓

クレストゲート等のダム設備の操作を行うための機器です。

流木止め

ゲート等に流木が流れこむのを防ぐための設備です。

空気揚水筒装置

ダム湖の水を攪拌させ水質を改善するための設備です。

係船設備

ダム湖内で、流木回収や様々な調査を行うための船です。

監査廊

ダム本体内部のひび割れや漏水量を調査･測定するための通路です。

昇降機

ダム本体の上部と下部を移動するための設備です。

警報車

クレストゲートからの放流開始前に警報を行うための車です。

ダムの管理

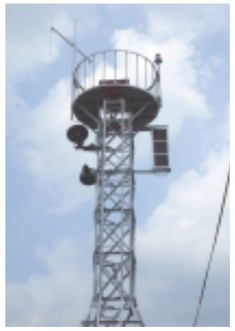
Administration of the **MINAMIHATA Dam & SEFURI Dam**

統合管理システム

南畑ダム管理出張所では、南畑ダム･脊振ダムを連携･機能させるために、2つのダムの管理を1ケ所の事務所で行っています。『ダムのはたらき』からも分かるように、ダム及び下流河川を管理するためには、ダムに流入する水量･ダムや河川の水位･ダムから流出する水量等を的確に把握する必要があります。そのため、ダムの周辺や那珂川流域には、雨量や水位を観測する設備が数多く設置されており、伝達されたその情報を事務所で常に監視しています。このような設備をテレメータ設備といい、ダム･河川管理の生命線とも言える重要な設備です。

ダム放流時の注意

大雨等によりダムに貯められた水を放流する場合は、南畑ダム管理出張所から約1時間前に警察署･消防署･市役所などに連絡します。住民のみなさんには、各警報所のスピーカ放送やサイレン（60秒鳴って10秒休み、また60秒鳴ります。）電光表示板、赤色回転灯によって、放流が始まることを知らせています。さらに管理出張所の警報車が、川ぞいに注意の放送をしながらパトロールします。このような時は那珂川の水が急に増えてあぶないので、川に近づかないでください。



ダムにも限界があります。

南畑ダムは洪水調節のために、191万m³の水を貯められる余裕がありますが、これ以上の洪水の流入があった場合は貯めることができません。そのためダムへ流入した洪水はそのまま下流に流れるので、ダムがあってもないのと同じ状態になってしまいます。もちろん、このような豪雨は100年に1度あるかないかですが、ダムの洪水調節にも限界があることを知っておきましょう。

知っていますか?

ダムのはたらきを正しく理解していただく活動

南畑ダム管理出張所では、洪水調節･生活用水等の確保というダムのはたらきを正しく学んでいただくために、随時見学を受付けています。